

第 74 回神奈川県アイスホッケー選手権 大会要項

2026/10/12 版

1. 名 称 : 第 74 回神奈川県アイスホッケー選手権
2. 主 催 : 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 主 管 : 競技委員会
4. 大 会 役 員 :

会 長	藤木 幸太				
大会委員長	中島 透				
競技委員長	小野 真				
大会役員	内田 貴典	江守 永	奥山 美紀	鍵和田 和明	菊地 拓海
	黒木 紗季	佐々木 暁	佐々木 基喜	天明 太郎	新村 翔太
	長谷川 宜彦	長谷川 護	畑中 和幸	藤井 飛翔	三浦 浩幸
	水原 健司	宮本 淳平	山田 瑛史		

幹 事 チ ー ム : (幹事長) RED BULLETS
 横浜 JETS、上條会 Mao's、YOKOHAMA BAY BLUES、J-CRANES

レフェリー委員長 畑中 和幸
 レフェリー団

安藤 仁詩	大山 訓弘	奥山 美紀	鍵和田 和明	勝山 栄
金子 純平	河久保 昌利	近藤 健一	佐久間 剛	佐々木 暁
佐々木 基喜	下山 浩二	世利 謙太郎	立花 勝彦	田中 哲治
勅使河原小梅	戸高 英明	中村 秀岳	長谷川 宜彦	畑中 駿佑
本田 翔馬	山本 秀彦	吉岡 唯	吉田 見登留	

 他、チーム登録レフェリー、日ア連公認レフェリー

大 会 医 師 江守 永 (県連医事委員長)、三辺 武幸 (県連医事副委員長)
 救 急 指 定 病 院 重傷の場合はリンク事務所に連絡の上 119 番すること
 軽傷の場合 : (24 時間受付・年中無休)
 かながわ救急相談センター TEL #7119 (又は 045-232-7119)
5. 会 期 : 2026 年 10 月 26 日 ~ 2027 年 3 月下旬 (141 試合)
6. 会 場 : 横浜銀行アイスアリーナ、KOSÉ 新横浜スケートセンター
7. 参 加 資 格 : 神奈川県アイスホッケー連盟の【一般】カテゴリーで 2026 年度登録をしているチーム及び選手・役員。なお、同種に登録されたチームはすべて参加しなければならない。

注	1	大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Faceoff システム」に於いて 2026 年 10 月 19 日までに県連宛に申請されたものを有効とし、大会出場を認める。また、年末に追加登録期間を設ける。期間は別途提示する。
注	2	大会参加費未納及び日ア連登録費未納チームは本大会については失格とする。
注	3	県内【一般】登録チームに所属する選手について、大会期間中は県内チーム間での移籍は原則認めない。
注	4	審議委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は、たとえ他チームに移籍をしても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。
注	5	大会参加申し込み以降、棄権、失格、出場停止、試合放棄などで予定され

た試合を不履行としたチームは参加費以外に当該試合リンク代の 1/2 を大会会計に補填すること。またその場合のリンク利用権は、不戦勝チームが有する。

注 6 不参加の連絡は「info@kih.f.net」まで mail 連絡すること。

8. 大会形式及びグループ分け：

- a. ボディチェック禁止ルールを適用しない「チェックリーグ」とボディチェック禁止ルールを適用する「ノンチェックリーグ」をチーム希望に基づき分ける。ただし、前年度の結果と乖離した部となる場合となる場合は、調整を行う。
その上で、1 部から 3 部をチェックあり、4 部から 5 部をチェックなしとする。各部グループ分けは前回第 73 回神奈川選手権の結果による。
- b. 総当たりリーグ戦とし、各チーム 7～9 試合の結果により順位を決定する。
1 部、2 部、4 部：8 チーム
3 部：7 チーム、5 部：9 チーム
順位決定リーグや入替戦は実施しない。
- c. 次回第 75 回神奈川県アイスホッケー選手権のグループ分けは、今回の第 74 回神奈川県アイスホッケー選手権の成績により決定する。チェック、ノンチェックのリーグ内において各部上位 2 チームと下位 2 チームを入替戦なしで入れ替える。つまり、1 部-2 部間、2 部-3 部、4 部-5 部間での入れ替えとなる。
チェック、ノンチェックのリーグ間の移動はシーズン毎に可能とするが、移動は、チェックリーグの最下位リーグ、ノンチェックリーグの最上位リーグのチームを原則とする。また、変更後はリーグ内の最下位部からのスタートとする。
- d. 次回第 75 回神奈川県アイスホッケー選手権でチーム数の加減が生じた場合は、1 部 2 部は 8 チームの編成を維持し、3 部以下で調整をする。
- e. 今回第 73 回神奈川県アイスホッケー選手権に出場したチームで、第 74 回神奈川県アイスホッケー選手権に出場しない(あるいは出来ない)チームが生じた場合のグループ分けは、各部入替を実施後上記 d. の編成となるように調整する。
- f. 審議委員会の処分による出場停止チームは、次回第 75 回神奈川県アイスホッケー選手権では、第 74 回神奈川県アイスホッケー選手権の成績により所属する部の最下位とし、その次の第 75 回神奈川県アイスホッケー選手権では自動的に降格となり、グループ分けは前記 d. の編成となるように調整する。
- g. 新加入チームが生じた場合は、チェックリーグ、ノンチェックリーグの希望を確認の上、リーグの最下位の部より参加とする。

9. 参 加 チ ー ム：
チ ャ ッ ク リ ー グ

- | | |
|-------|---|
| 【1 部】 | ケッターズ、EAGLES、ハセガワ B、サンダーバード、Marvericks
箱根クラブ、NEC-A、アイスバンディッツ
8 チーム |
| 【2 部】 | ハマクラブ A、RED BULLETS、S Blitz、イフトビペンキンス、常盤台ユベントス、神奈川メープルリーフ A、YOKOHAMA BAY BLUES、スーパーケッターズ
8 チーム |
| 【3 部】 | 上條会 Mao's、Big Buzz、日産ピストンズ、B.B.KINGS、横浜ダイヤモンドズ、ALPACAS、JINXS
7 チーム |

ノンチェックリ ーグ

- 【4 部】 BERKS、横浜ガルス、横浜 JETS、湘南 BRUTUS、ロックホッパーペンギ
ンズ、ENEOS、NEC-B、チームハセガワ A
8 チーム
- 【5 部】 YOKOHAMA BAY JAZZ、サザンレッドウイングス、ゼロックス、神奈川メ
ーブルリーフ B、スパイラル、TUS オリオンズ、ハマクラブ B、S
Lightning、J-CRANES
9 チーム
- 県連審議委員会による出場停止処分：チームとしてはなし

10. 参 加 費：	1 部、2 部	263,000 円
	3 部	213,000 円
	4 部	246,000 円
	5 部	278,000 円
	上記参加費を下記口座へ 10 月 25 日までに振り込むこと。なお、期日ま でに入金確認の取れないチームは出場を認めないこととし、県連審議委員 会により処分を科する。	

振 込 先 横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936
神奈川県アイスホッケー連盟

11. 競 技 規 則： 神奈川県アイスホッケー選手権の定めるローカル・ルールを除いては原則
として IIHF 公式規則で行う。26-27 シーズンルール変更を適用する。

補助規則（ローカル・ルール）：

- 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、その
チームは不戦敗(スコアは 0 対 1)とする。
この場合、審議委員会により罰則を科す。
- 出場資格はあるがオールメンバー表に記載されていない選手が出場した場
合、関係した得点は無効とする。ペナルティは課さない。当該選手は残り
時間出場できない。
- ベンチには、ゴールキーパー2 名・スケーター20 名の計 22 名、役員 6 名
迄入ることができる。
- IIHF ルール第 5 条 1 項に基づき、試合開始整列時に 1 名のゴールキーパー
と 5 名のスケーター、役員 1 名を最低人数とし、これに満たないチームは
試合放棄とみなし不戦敗（スコアは 0-1）とする。
また、試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数（3 名のスケータ
ー）をリンク上にそろえることができなくなったチームはその時点で試合
没収とする。
- ユニフォームを着用しない役員名を当該試合のメンバー表に記載し、試合
開始から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。
- ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側とし、**ホームチ
ームとする。**
- すべてのプレーヤーはマウスガードを使用しなければならない。マウス
ガードは氷上に落ちたとき目立つカラーリングを施したものを使用するこ
と。フルフェイス着用でもマウスガードは必須とする。ゴールキーパーは
必須としない。
- 1974 年 12 月 31 日より後に生まれた選手はフェイスケージまたはバイ
ザーかフルバイザーを着用しなければならない。バイザーは無色透明なも
のとし、それ以外は使用出来ない。バイザーは、目及び鼻が全て覆われる
ものでなければならない。(IIHF ルール第 9 条 7)
該当選手は、「V」の表示をプログラムに明記する。

- j. 大会開始日に 18 歳以下のすべてのプレーヤーは、パックもスティックのブレードも貫通できないように作られたフェイスケージ及び首とのどのプロテクターを着用しなくてはならない。(IIHF ルール第 202 条)
該当選手は、「F」の表示をプログラムに明記する。
- k. 血液感染予防のため、各チーム予備のユニフォームを用意する事が望まれる。
- l. ユニフォームの色が同系色で、ペナルティのコールを誤る可能性があるとしてレフェリーが判断した場合、レフェリーの指示に従い、本部席より見て右側のチームがベストを着用する。
- m. 3 回目のペナルティを犯した選手はその試合の残り時間をゲームアウトとする。(ゲームシートの NOTES 欄に「時間・番号・3 回目のペナルティにより退場」と記す。20 分のペナルティは加算しない)
ペナルティのカウントは、以下のとおりとする。
① 単独のマイナーペナルティ (2 分) は、カウント 1。
② ダブルマイナーペナルティ (2 分+2 分) は、カウント 2。
③ INTER・TRIP・HOOK・SLASH・BOARD・CHARG・ELBOW のマイナーペナルティ (2 分) はカウント 1。メジャーペナルティ (5 分) はカウント 2 とする。
④ ABUSE、UN-SP などの単独の MISC (10 分) は、カウント 1。
⑤ ベンチマイナーはカウントしない。(PB に入る代行者本人のペナルティではないため)
⑥ ゴールキーパーのディレイ (遅延行為) のペナルティは回数にカウントしない。
- n. ノンチェックリーグに適用されるボディチェック禁止ルールについて相手の胴体を狙ったチェック (ボディチェック) を禁止する。
(ボディ以外へのチェックは元々禁止されている)
パックに対してプレーすることにより生じる必然的、自然的なボディコンタクトは問題ない。また、両選手の意図しない偶発的な衝突は問題としない。
このルールに違反した場合「イリーガルヒット」とし程度によりマイナーペナルティ、メジャーペナルティ、あるいはメジャー+ゲームミスコンダクトペナルティが課される。
- o. ユニフォームのネーム規定 (IIHF ルール第 9 条 2)
現行のユニフォームの使用にあたっては適用せず、2026 年 9 月 1 日より日ア連登録された氏名の姓のみとする。名のイニシャル+姓は可とする。
ユニフォームの新調時 (チームとしても個人としても) には規定どおり日ア連登録された氏名の姓のみとすること。緊急的に借りたユニフォームで出場する場合はネーム部分を同系色の生地で見え隠れさせるか修正すること。テープ張りでの修正は禁止する。
なお、ネーム部分を隠す場合のガイドラインとして以下に示す。
•ビニールテープによる隠す：不可
•布の端をテープで押さえる：不可
•同色の布を縫いつけて隠す：推奨・許可
•アイロン圧着・裁縫用両面テープによる布の取り付け：許可 (ただし剥がれた時点で無効)
•試合中に布が剥がれた場合：無効とみなす
•布が剥がれたユニフォームでの試合出場：不可。修正後出場可。(なお、C/A マークが剥がれた場合は権利失効となり、審判と直接話ができない)

- p. ユニフォームのタイストラップ規定 (IIHF ルール第 9 条 3)
ユニフォームのタイストラップ未装着では出場できない。試合中に未装着が発見された場合、ペナルティは課さないがそのユニホームで試合の残り時間出場できない。留め忘れについては、1 回目は警告、2 回目以降はマイナーペナルティとする。
- q. ネックガード規定 (IIHF ルール第 9 条 12)
GK も含め全選手はネックガードを正しく着用しなければ出場できない。
GK の顎スロートはネックガードとは認められない。1 回目はマイナー、2 回目はミスコンダクト、3 回目はゲームミスコンダクトとなる。

12. 競 技 時 間 :

- a. 練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分で行う。ただし、貸し切り時間内に試合終了しない事が予想される場合は、SV の判断により残り試合時間をロス込みにする場合がある。第 3 ピリオド終了時同点の場合は、引き分けとする。
- b. タイムアウトはなしとする。
- c. オールメンバー表は試合開始 20 分前までにオフィシャルへ提出すること。
- d. ロス込時間の取り扱い
 - ・得点時は一旦止める。レフリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
 - ・反則発生時は一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - ・選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などは、レフェリーの指示で時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - ・反則時間終了時にプレーが止まっていた場合は、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティーベンチから出られない。

13. 順位 :

- a. 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づける。(勝ち点は勝ちチーム 3 点、引き分けには各 1 点を与える。)
- b. 勝ち点が同一の場合、勝利数の多いチームを上位とする。
- c. 勝ち点と勝利数が同一の場合は、対戦結果の勝ちチームを上位とする。
- d. 対戦結果で順位がつかない場合は、総ペナルティータイム (1 試合当に換算) の少ないチームを上位とする。
- e. 総ペナルティータイムが同一の場合は、総得失点差、総得点の順とする。
- f. 上記により順位を決定できない場合は、前年度結果による上位チームを上位とする。

14. オ フ ィ シ ャ ル : オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任を持って終了させる。オフィシャル当番はスケート靴持参 (6 名以上) で試合開始 20 分前に集合し、準備を開始すること。オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。
また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。

15. レ フ ェ リ ー : 3 部~5 部の試合についてレフェリーは 3 人制で行うことを原則とする。1 部及び 2 部では 4 人制を基本とするが一部 3 人制となる場合もある。

1 部及び 2 部の試合については、レフェリー委員会から派遣とする。
3 部から下位のリーグについてはレフェリー委員会から 1 名ないし 2 名派遣とし、残りはチーム登録レフェリーが担う。常に県連 HP で確認のこと。

16. スーパーバイザー：

- a. ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームに 1 名のスーパーバイザーを置く。
- b. スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。
- c. スーパーバイザーは、本年度幹事チームから派遣する。

17. 試合中の傷害： 試合中に傷害を負った選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出る。傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。
また、チームはスポーツ安全保険もしくは同等の補償の保険に加入しなければならない。加入していない選手・役員は大会出場できない。

18. 懲戒委員会： 委員長 菊地 拓海
委員 小野 真、畑中 和幸、長谷川 宜彦、佐々木 暁

19. 登録・出場資格に関する問い合わせ先：

登録	理事	長谷川 護
要項・日程等	理事	小野 真

20. 試合成立・不成立： 試合がなにがしらの事由(自然災害、リンクの故障、重大なる傷害など)により中断し以降再開が不可能になった場合

- ・中断時が第 2 ピリオド終了以降の場合
→試合成立 中断時の得点を試合結果とする。
- ・中断時が第 2 ピリオドを終了していない場合
→試合不成立 後日再試合とする。得点はリセットされる。なおゲームミスコンは消滅せず懲戒委員会に諮られる。

21. その他： 要綱に記載されていない不測の事態が発生した場合は、競技委員会にて別途協議をする。

以上